

クラス番号	233	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	洪 英在
テーマ	医療の現場における多職種連携の実際を知る		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等： 2006 年、米国老年医学会より、「複雑な背景をもつ高齢者に対する多職種連携の立場表明」がなされました。質の高い多職種連携によるケアが実施されることで、以下のような効果を得られると示されました。 ①複雑な疾患、背景を持つ方への対応が可能となる。 ②ケアの過程、結果が改善される。 ③ケア提供者の負担が軽減される。 ④多職種連携の研修、教育が重要である。 この立場表明は米国における高齢者に対する立場表明ですが、内容は高齢者に限った話ではなく、どのような背景を持つ方への対応にも多職種連携が重要なのは言うまでもありません。また、米国に限定された話でもありません。 医療の現場と言っても様々です。それぞれの現場で多職種連携がどのように行われているかを知ることが重要です。病院やクリニックだけではなく、医療的ケアを有する方が多く療養している施設でのフィールドワークを組み込み、下記のようにゼミを進めます。 授業計画： このゼミでは、質の高い連携がなされるとはどういうことなのかを、現場でのフィールドワークを通して知ることを目的とします。そのために、以下のような内容・方法で行います。 1) 具体的な事例を通して、医療現場における多職種の役割、連携について考えます。 2) 1) を元に、フィールドワークの内容、施設を選び、そこで経験すべきことをまとめます。 3) グループに分かれ、医療機関や医療的なケアを必要の方が多く施設でのフィールドワークを行います。 4) 1 年のまとめとして、報告会を行います。			
担当教員からのメッセージ			
「多職種連携」は重要だと言われていますが、その重要性を言葉で説明することは簡単ではありません。そのため、まずは「なんとなく」その感覚をつかむことが大切です。このゼミを通して「なんとなく」を言葉で説明できるようにしていきましょう。それをフィールドワークの準備段階からこの意識を持てると、より実りのある経験ができるはずです。どの施設でどのようにフィールドワークを行うかは、皆さんの希望に合わせて可能な限り調整いたします。よろしくお願いします。			